

# 六字城

ROKUJIJO

2021/5/1

No.678

大阪市北区東天満 1-8-26  
06-6351-3535  
http://www.tenma-betsuin.jp  
代表者 輪番・武宮 信勝



## 転換への道

—池江璃花子から聞く—

武宮 信勝

東京五輪まで三ヶ月を切った今、出場アスリートの心境はコロナ緊急事態宣言の中、複雑多岐であろうと推察します。過ぐる57年前（1964年）、中学3年の秋、東京五輪で各種目の新聞報道を切りあさり、5冊以上のスクラップ帖作りに熱中したことが昨日の如く想い出されてくる。特にアフリカのマラソン選手アベベ・ビキラの顔は鮮明に覚えている。先日（4月10日）、NHKスペシャル、対談「池江璃花子 新たな挑戦」を食入る様に視聴した。東京五輪の星として注目が高まっていた最中、2019年2月白血病と診断されて2年、抗癌剤治療と真向かいになりつつ、一步一步積みかさねて来た生きざまが放映された。

白血病と診断された時、「もうガンバル必要がない。東京五輪から解放された」。一度だけ家族の前で「死にたい」とまで告発したと言う。吐き気が強い日、倦怠感が強い日「大丈夫、大丈夫いつか終わる」。そう自分を励まし続けた。まさに「どん底」の生きざまであったのだろう。約10カ月の闘病生活を経て実家に帰ることができた。痩せ細った身を抱えつつ、406日ぶりに、恐る恐るなつかしのプールに身を沈めると、目が輝いた。「言葉に表せないくらい、嬉しくて、気持ちよくて、幸せ」。沈んでいた気持ちが一変した心境が伝わってきた。それから彼女の第二の水泳人生が始まった。「それまでは自分の事で一杯、周りの声が聞こえなかった。たった一人の自分に、大学のチームメイトを始め仲間を背中を押され、励まされて練習することの楽しさをおぼえられた。仲間と泳ぎたい、レースを楽しみたい。何よりも入院中に出遇って、今もなお血液の難病に生きる吉田麻里さんの心の支えになりたい。どん底まで落ち込んだ自分が、周りの人々に励まされ、チョットずつ努力して成長する姿を見ていた。そして生きる勇気を確実に与えたい。このことを伝えていくことが自分の使命ではないかと思える」。事実SNSを通して「励みになった」と共感の声が、コロナに苦しむ人々をはじめ数多く寄せられていると聞く。「今、新しい自分とは何ですか？」という問いに、「私は、ただの池江璃花子じゃないか。池江璃花子なんです、池江璃花子なんです」

藤棚 (撮影者 西松 薫)

【次ページに続きます】

## 法要・行事予定

5月		
12日	闍如上人御逮夜・常永代経	(14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中	(8時)
22日	常如上人御祥月御命日	(8時)
24日	定例法話 (13時30分) 沼田 和隆師 (第15組大長寺)	
27日	宗祖聖人御逮夜	(14時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 法話 輪番 武宮 信勝	(8時)

6月		
5日	同朋の会	(14時)
12日	闍如上人御逮夜・常永代経	(14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中	(8時)
18日	存如上人御祥月御命日	(8時)
19日	天満別院合唱団「みのり」	(14時)
24日	夏の御文法要 (13時30分) 墨林 浩師 (第2組光照寺)	
27日	宗祖聖人御逮夜	(14時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 法話 輪番 武宮 信勝	(8時)

※ 諸行事につきましては、感染状況をみて判断致します。



## 今月の伝道掲示板

経済は大切です。  
しかし  
人間は  
もっと大切です。  
—ダライラマ14世—

**新規墓地・合祀墓納骨のご案内**

現在、別院では真宗の御門徒の墓地使用者を募集しています。また別院の由緒を敬慕し崇敬護持に協力する門徒、及び信徒の墳墓として合祀墓がございます。

儀式執行は別院職員が行います。墓地のお求め、納骨等詳しくは寺務所までご連絡ください。



## 編集後記

ここ最近の急激な感染者数の増加によって、友人から結婚式を延期することになったと思います。友人をはじめ、コロナ禍によって、日常生活に支障をきたしていない方は誰一人いないと思います。コロナがなければと思うのが、私たち人間であります。ただ、ウイルスも生き残る為に、必死なのだと思えば、このぶつけようのない不平不満も少しは緩和できるのではないのでしょうか。(H)

寺町という歴史ある地域に  
根ざした老舗葬儀社

**(株) 天満花重**

〒530-0041  
大阪市北区天神橋 3-4-6  
電話 (06)-6351-3875  
FAX (06)-6351-6260

おかげさまで**創業120余年**  
あなたの街の石屋さん

**株式会社 太田石材店**  
~仏事その他何なりとお気軽にご相談ください~

0120-305-075

本社  
〒536-0001 大阪市城東区古市1丁目23番20号  
TEL 06-6930-5075 FAX 06-6930-5078

# 報告

## 仏前結婚式



去る4月2日(金)、天満別院において尻懸保様、玉井優衣様の仏前結婚式を執り行いました。ご結婚おめでとうございます。

別院では仏前結婚式を随時受付けております。

真宗の結婚式は、阿彌陀如来の尊前で、誠に深い因縁によって遇う事の出来たお二人が、その一生を共に生きていこうと誓いをたてあう厳粛な儀式です。

寺院関係の皆様だけでなく、ご門徒の方々の挙式も御遠慮なくお申し込みください。ご相談、下見等のお問い合わせは寺務所までご連絡ください。

# Q&A

最近、僧侶を呼ばない葬儀や直葬が多いが、どうなんでしょう？



## 答え

ここ近年で葬儀や中陰の形態が随分変わりました。そのうえ新型コロナウィルスの感染拡大でさらに簡略化、少人数で短時間、集まる回数を少なくするため儀式自体に変化が生じています。葬儀式中の初七日はもろろのこと、満中陰という言葉まで飛び出している状態です。こんなことがまかり通ると、もう元に戻すことは不可能と言えます。とてもコロナだけの問題ではありません。何のために葬儀を行い、なぜ僧侶を呼ぶのか、ということを変更して問

返さなくてはなりません。葬儀を行うということは、その人の生前の遺徳を忍び、ご苦労をねぎらうのと同時に、人として生まれながら必ず死ぬというのを教わり、やがて自分もこうなるのだ、ということを知る場でもあります。今まで宗教に無縁のものであっても、身近な人の死ということを通して仏縁に出会う場であります。例えば一度も手を合わせて合掌すらしたことのない人であっても、仏縁に出会うと、周りを見て知らず知らずのうちに、手を合わせて頭を下げているものです。そして、僧侶が葬儀に必要なものは、単にお勤めをして、派手な装束を着て儀式を執行しているだけではない、今後仏法聴聞の場を設けて、仏縁作りの手助けをするために僧侶が必要なのです。僧侶と関わりを持たなかったら、いつどこで仏縁に出会うのですか。事情もあることですが、出来るだけ呼んでください。(第13組 心願寺 松井 聰)

## 同朋の会

### 一年振りに再開！



去る4月5日(月)同朋の会が開かれました。「ちょっと寄って聞いて、お寺で話そう」

をテーマに、誰でも気軽に寄り合えることを第一に考えています。

今回は6月閉鎖される「太閤園」を散策し、日頃の思いを各々自由に語り合っていました。

あなたも是非友人を誘って参加してみてください、お茶でも飲みつつ語り会いましょう。

## 「太閤園散策の様子」



## 「ご門徒の皆さんとの散策記念」



## 「緊急事態宣言」に伴う天満別院の対応

- 1、期間 4月25日～宣言解除まで
- 2、月忌参りについて 先方に連絡し参勤の有無を確認致します。
- 3、年忌について 施主の方と感染対策を相談し「三密」をできるだけ避ける方法で勤行致します。
- 4、別院寺務所業務について 7時～16時までと致します。
- 5、墓地開閉時間について 6時30分～15時までと致します。
- 6、晨朝及び感話について 従来通り継続して行います。
- 7、別院使用について 従来通り行ないます。

# 告知

## みのり中止

今月15日に予定されておりました合唱団「みのり」は社会情勢を鑑み、中止とさせていただきます。練習の再開については、当別院ホームページ、もしくはは機関紙「六字城」にて掲載致しますので何卒よろしくお願い致します。

## 定例法話

定例法話は、多彩な講師陣がわかりやすく真宗のみ教えをお話ししてくれます。5月の定例法話は左記の通り開催されます。

日時	5月24日(月)	午後1時30分
場 所	天満別院 本堂	
御講師	第15組 大長寺住職 沼田 和隆師	
講 題	「如来の御ちかい」	